

# 鳥上で猷穀 七十周年記念田植え祭

船通山山頂には、「天叢雲劍出頭(あまのむらむら)の地」と記された石碑が建立されていますが、この「天叢雲劍」が熱田神宮(名古屋)のご神体である「草薙神劍」と同じ意味を持つことを縁に、鳥上地区では昭和十三年から同神宮へ米を奉納して今年で七十周年を迎えました。

四月二十七日には、同神宮の小串和夫宮司夫妻、出雲大社の千家尊祐宮司夫妻をお迎えし、神事が行われ、大呂の



▶ 神事の様子  
(前列左から小串宮司夫妻と千家宮司)

猷穀田(約三アール)で田植えが盛大に行われました。

この日、地元有志「道友会」の会員約五十人と鳥上小学校五・六年生が、約三十年前から使われている猷穀田で苗を一株ずつ丁寧に植えました。小串宮司からは七十年もの長きにわたり、猷穀されたことへの感謝の言葉が述べられた上で、「これからもこのご縁を大切にし、良き伝統を守り続けてほしい」とあいさつがありました。



▶ 猷穀田での田植えの様子

# 観光シーズン幕開け 鬼の舌震川開き 安全祈願祭

奥出雲町を代表する景勝地として年間約十万人の人が訪れる「鬼の舌震」で四月二十六日、川開き安全祈願祭が行われました。

玉日女神社参道で行われた安全祈願祭には、地権者、島根県観光振興課、雲南警察署、JR木次鉄道部、奥出雲町観光協会などの関係者約三十人が出席し、神事のあと玉串を供えて、シーズン中の観光客の安全を祈願しました。また、同観光協会会長の岩田町長からは「アクセス道路改良による大型バスの乗り入れやバリアフリーの遊歩道の



▲シーズン中の安全を願いコギを放流

整備により利便性が高まり、今後も多くの人に景観を楽しんでほしい」とあいさつがありました。

神事が終わると玉日女橋から大馬木川へ御神酒流しを行った後、川辺で岩田町長と今年四月から職員相互交流で農林水産省から派遣されている役場農業振興課の小嶋早和香課長補佐がコギ二百匹を放流しました。

好天に恵まれたゴールデンウィーク期間中も、多くの観光客が訪れ、新緑の溪谷を散策し、奥出雲の自然を楽しんでいました。



## 第九回 しゃくなげ まつり

五月四日、商工会横田支部やつちやらの主催で第九回しゃくなげまつりが開催されました。

会場となった役場横田庁舎前では、横田中学校園芸部による花の苗の販売、加工グループの柗つきもち、おこわなどの販売、フリーマーケットなど多くの出店がありました。また、特設ステージでは、横田中学校ブラスバンド部やヤマタノオロチ吹奏楽団の演奏、松江市のよさこいグループ舞夢の踊りが披露され、子供達や家族連れで賑わいました。

## 梶谷玄雄氏(下阿井) 藍綬褒章を受章

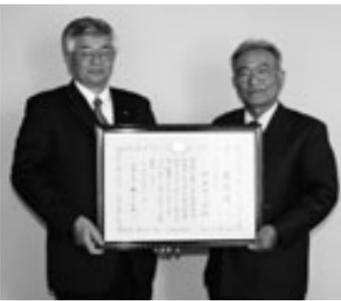


梶谷さんは、昭和六十二年十二月に法務大臣から更生保護司として委嘱を受けて以来、今日まで二十一年の永きにわたり、犯罪や非行からの立ち

直りを地域で支えるなど重要な役割を担い、保護観察や犯罪予防等の更生保護活動に尽瘁されました。その功績により、今回褒章の栄に浴されました。なお梶谷さんは、平成十七年十二月から雲南地区保護司会の会長としてご尽力されています。

## 「横田山の会」が環境大臣表彰を受賞

自然環境の保全のため、特色ある活動を推進している団体として、「横田山の会」(永濱哲夫会長)が四月二十八日、新宿御苑(東京都新宿区)に



おいて、「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞されました。「横田山の会」は、昭和三十三年に設立、長年にわたり船通山山頂に自生するカタクリの保護活動や違法採取防止パトロール、観察会の実施、登山道の環境整備等を行われました。また、吾妻山での小学生を対象としたキャンプ指導などを積極的に行い、青少年の健全育成に大きく貢献されています。

## 菜の花満開 尾原ダム菜の花まつり



▲仁多乃飛炎太鼓による演奏



▲多くの来場者で賑わう会場

「尾原ダム菜の花まつり2008」が四月二十七日、奥出雲町林原地区の尾原ダム貯水予定地で開催されました。このまつりは、斐伊川治水事業に関係する流域住民が互いに交流を深め、斐伊川の環境を大切にするを目的に、地元の尾原ダム連絡協議会やダム周辺活性化対策協議会、NPO法人斐伊川くらぶなどの実行委員会により開催され、今年で九回目となります。当日は好天にも恵まれ、地

元はもとより雲南や松江、出雲の各市などから約千二百人が訪れ、約三ヶ所にわたり咲き誇る菜の花畑を、家族連れで写真を撮影したり、散策を楽しんでいました。またイベント会場では、仁多乃炎太鼓や温泉こども神楽が披露されたほか、同建設地で収穫されたそば粉を使った手打ちそばや、地元の山菜天ぷら、猪汁など地元の味覚を満喫するテントも並び、一日中多くの人で賑わいました。

## 奥出雲たたらと刀剣館で 春季企画展開催

奥出雲たたらと刀剣館では、春季企画展「刀匠小林一門展」が四月二十六日から五月十一日まで開催されました。

企画展では、県の無形文化財に指定されている刀匠の小林貞法さん、貞永さん、貞照さん兄弟三人の作刀した太刀脇差など十一振や未研ぎの刀剣二十振が展示されました。来館者は、実際に手にとって、刀の重さ、刀剣の美しい刀紋や曲線に見入っていました。

また、期間中は小林一門による鍛錬や島根抜刀会による抜刀実演も行われました。



▶ 刀剣を手にする来場者